

みんなで“まちを育てる”フォーラム
市民ワークショップ

かわら版

第5号



平成27年5月
発行：岩手県立大学
盛岡短期大学部
内田研究室

サケのまち宮古PRキャラクター
サーモンくん&みやこちゃん

4月11日 第5回市民ワークショップ特別講座が開催されました

宮古駅南側に計画中的新たな拠点施設のあり方や、現市庁舎跡地の活用方法、そしてこれらを核とする中心市街地地区に賑わいを産み出すためのアイデアについて話し合う「みんなで“まちを育てる”フォーラム」第5回目の市民ワークショップ特別講座が、4月11日（土）に開催されました。

前回までのワークショップでは、宮古の歴史的な資源を活かそうというアイデアが多く挙げられていました。そこで、今回のワークショップは特別講座とし、「先輩に聞く！昔のみやこまち」と題して、昔の宮古の街の様子や暮らしの様子を紹介してもらおう機会としました。

ワークショップには、高校生、短大生から40歳までの年代の27名の皆さんに参加いただきました。当日の様子は宮古市ホームページに掲載されています。

講師の橋本久夫さんのお話

今回のワークショップの講師は、（有）タウン情報社代表取締役の橋本久夫さんです。

橋本さんは、月刊「みやこわが町」というタウン誌を編集、発行しています。昭和52年に創刊され、震災を乗り越え、今年4月号で436号となりました。「みやこわが町」の編集コンセプトは「ふるさと愛」。地域の文化にこだわり、ふるさととの歴史や方言、地域の人々の今を生きる姿にスポットをあててきているそうです。

当日の講演では、「みやこわが町」の創刊からのお話や、明治から昭和にかけて撮影された写真を紹介しながら、撮影された時代の様子や写真にまつわるエピソード、現在の“みやこまち”との比較など貴重なお話を聞くことができました。

最後に、橋本さんは以前ワークショップで行った「まち歩き」について触れ、「まち歩きを行ったのは非常に良いこと。まちづくりのためには「まち」を知らなくてはならないですが、まち歩きはそのための身近なツールです」とまとめられました。

次のページでは、橋本さんが紹介して下さった、ちょっと昔の「みやこまち」の様子を紹介しましょう。



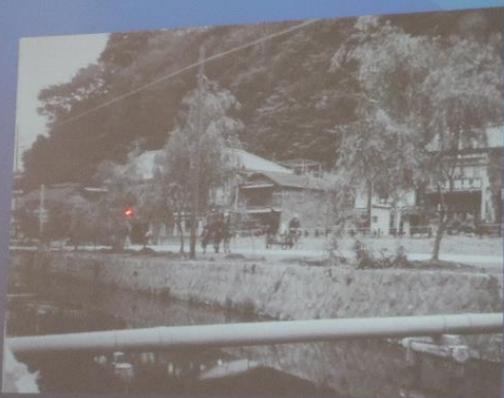
講師の橋本久夫さん



橋本さんが編集、発行している月刊「みやこわが町」

紹介していただいた、ちょっと昔の「みやこまち」の風景から…

山口川本町通り



昭和32年の本町通りの様子。現在は山口川には蓋がかけられ、道路になっています。

宮古橋と山田線鉄橋



昭和42年、宮古橋と山田線鉄橋の風景。SLが走っています。宮古大橋はまだありません。

おでんせ市 中央通



昭和50年の中央通「おでんせ市」の様子。多くの人で賑わっている様子がわかります。

SL C10-8



かつて臨港線を走っていたSL「C10-8」。昭和62年にはイベントも行ったそうです。

今回は「シナリオづくりワークショップ」です！

次回の第6回ワークショップは、5月23日（土）に開催予定です。今回は、「シナリオづくり」にチャレンジします。ある1日の過ごし方について、みやこの街なかでの暮らしをどう楽しむかをイメージしながら、映画のシナリオをつくってみよう…というワークショップです。特に、市役所跡地の利活用についてのイメージ、アイデアを考える機会にしたいと考えています。

その後は6月20日（土）と8月1日（土）にワークショップを行う予定です。そして、これまでの成果をまとめて、報告会を行い、市長への提言を行う予定です。今後もぜひご参加ください！

第6回ワークショップのお知らせ

「シナリオづくりワークショップ」

日時：5月23日（土）13:30～16:30

場所：市役所6階大ホール

参加は自由です。興味のあるお知り合いの方がいましたらぜひお誘いください！

問合せ先
宮古市役所復興推進課
電話 68-9089



みやこちゃん